

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第3回行田市男女共同参画推進審議会	
開 催 日 時	令和元年12月17日（火） 開会；午前10時30分・閉会；午後12時00分	
開 催 場 所	行田市男女共同参画推進センター 学習室	
出席者（委員） 氏 名	田代美江子委員（会長）、山崎孝子委員（副会長）、井上文子委員 茂木美智代委員、山岸泰輔委員、櫻井真佐美委員、今村宗雄委員 中島賢三委員、大熊武文委員、大谷春彦委員、梅田伸一郎委員 加藤修一委員、大野久美子委員（名簿順）	
欠席者（委員） 氏 名	高鳥和子委員、斎藤光子委員	
事 務 局	堀口修司（所長）、内藤和彦（主査）	
会 議 内 容	（1）平成30年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に 対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について	
会 議 資 料	（1）平成30年度分第3次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対 する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案） （2）ぎょうだ男女共同参画フォーラム 2019 アンケート調査結果	
そ の 他 必 要 事 項	傍聴者なし	
会 確 議 録 の 定	確 定 年 月 日	主 宰 者 記 名 押 印
	令和2年 月 日	㊟

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	・ 開会 ・ 挨拶（田代会長） ・ 欠席者の報告 ・ 配布資料の確認 ・ 議長の選出（田代会長） ・ 本日の会議は委員の過半数が出席しており会議は成立している。 ・ 非公開とする事項はなく、会議の傍聴希望者もない。
議長	・ それでは、議長を務めさせていただく。 ・ 次第に基づき議事を進行する。 ・ 議事の（１）平成３０年度第３次ぎょうだ男女共同参画プラン進捗状況報告書に対する行田市男女共同参画推進審議会の評価及び意見（案）について、事務局より説明を求める。
事務局	【資料に基づき説明】
議長	・ この評価及び意見はホームページで公表する。３ページからのコメントは皆さんから出していただいた意見や評価をまとめたものである。どのような表記にすれば見る側に伝わるかということ意識しながらご意見をいただければと思う。 早速だが、１ページの４番目に「育児休業を取得した」とあるが、「取得したことを評価します。」とした方がよいと思う。 また、１ページの１番下から２ページ目にかけての「それぞれの部署において」と「また」から後ろの部分の縦割りの話は別のことなので２つの項目に分けてほしい。それから、１番最後の「根付いてきている部分が見られる一方～」は、全体的な指摘なので、上から２～３番目くらいにもってきていただきたい。
加藤委員	・ ４ページ目、施策５番で下の２つの農政課と農業委員会の表記であるが、「男女比率 他課と比べて。」だけである、これは「是非比べてください。」なのか「それとも比べて低い。」なのか、

議長 事務局 大野委員	どういう意味なのか。 ・これは、どなたの意見か。 ・大野委員である。 ・農業委員会などは所管する業務の性質として、他課と比べると女性の比率が少ないとの意見だ。
議長 加藤委員	・私も農政課、農業委員会のこの部分については、気になっていた。 ・進捗状況報告書を見ると来庁者に女性が少ないと記載されているが、「女性が増えるように積極的に取り組んでほしい。」などとした方が良いのではないか。
議長 大野委員 加藤委員	・今の意見を反映させる形で書き加えたらどうか。 ・分かりやすく修正して結構である。 ・来庁するのを待っているだけでなく行政の方から積極的に女性が参加するように働きかけるとか。
議長 加藤委員	・では、「行政側から積極的な働きかけに取り組んでほしい。」というような表記でよろしいか。 ・その方が良いと思う。 ・他にいかがか。
梅田委員 議長	・施策の順番で進めていった方が良いのではないか。 ・では、施策１「男女共同参画に関する推進体制の強化」から進めていく。
梅田委員	・企画政策課の語尾が「登用しているから。」で切れている。一般の人が見て分かる表現にした方が良い。
議長 山崎副会長	・この意見はどのような意図か。 ・私の意見だが A 評価とした。何故なら男女比率を考慮して登用しているからである。語尾に「ことを評価します。」という言葉をつけ加えていただきたい。
梅田委員	・もう１点、スポーツ振興課の２番「事業が増えた。」これだけだと何がしたいのかわからない。
議長	・では、「事業が増えたことを評価します。」でよろしいか。

井上委員	・ 結構である。
議長	・ 他にあるか。なければ 2 番の施策の中で高齢者福祉課の「B でよいと思います。」これだと何が B なのかがわかりにくい。
大野委員	・ 今年度の目標が達成できていれば評価を上げてもいいのではないかという意味である。
議長	・ そうすると例えば、1 番の施策の 3 番目の下水道課「B でよいと思います。」とあるが、これは評価に対する評価になっているのでそうことではなく、具体的に「この部分に問題がある。」とか「こういうところを積極的に評価したい。」とか、そういう意見をこのコメントの部分で反映させた方がよいと思う。具体的にこういうところが良いとか、こういう課題があるとか表記するのが、この評価及び意見の趣旨である。
議長	・ 先ほどから議論しているが、男女比の基となる母数が男性ばかりなので仕方がないとか、そういう考え方ではないのが、この男女共同参画の方向性であり、そこを積極的にどう是正していくかが目指されているわけである。 今の 1 番の施策の下水道課で、「B でよいと思う。」は、男女比率の問題を考慮してということか。
大野委員	・ そのような意味でコメントした。
議長	・ この表記だと市民はよくわからないので、もう少し具体的な表現に修正できないか。
大野委員	・ 他のところにも同じような表記があり、わかりにくければ削除していただいて構わない。
議長	・ 削除という選択肢もあるが表現を変えて残した方がよい部分もあると思う。
梅田委員	・ 「計画を達成したことを評価します。」に変えるのはどうか。
議長	・ 今の意見はどうか。
大野委員	・ 同じ下水道課で 2 番の施策のところに「女性委員の登用について、計画的に進めている点の評価します。」とあるので、同じような表記である。1 番の施策の下水道課の部分は削除していた

	だいて構わない。
事務局	・ 先ほどの高齢者福祉課の「男女の数を考えると B でよいと思います。」のところは削除でよろしいのか。
議長	・ 表現を変えるか。例えば、昨年度と比較して上がっているとすれば「それについて評価します。」でもよいと思う。
議長	・ もし違う表現にして積極的に評価したいということであれば、事務局に伝えてもらいたい。
大野委員	・ 皆さんで考えていただき意見をいただきたい。
議長	・ 評価は全員が一致するとは限らない。こうした評価をした委員がいるということでもいいと思う。2 番の施策の文化財保護課のところでも、「よいと思います。」という評価もあり「改善されていません。」といった評価もある。
大野委員	・ いろいろな意見がある。
議長	・ 例えば「均衡に努める努力はされていると認識していますが専門家がいないわけではありません。」とか「専門家の範囲も見直す必要があります。」などコメントしたうえで B 評価でよいというように修正したいとかあればそのようにしたい。
大野委員	・ 評価は人によってそれぞれ違うので、改善されてないと考える人もいるし、少し改善されているから評価するという考え方もある。皆さんで考えてどちらを載せるかでいいと思う。
議長	・ 努力されていることは評価している。そのレベルでいいのか、もっとレベルの高い部分で評価したいと思っているのか。
事務局	・ 文化財保護課の自己評価の E 評価に対して、不十分との評価だが努力は認めるといったような表現になれば良いのかと思う。
議長	・ では、3 番の努力されているのは認識していると重複するので削除でもよろしいか。
大野委員	・ 結構である。
議長	・ 高齢者福祉課のところはどうか。
事務局	・ 担当課は、達成がやや不十分だったので C 評価と自己評価している。でも大野委員は数字を見たかぎりでは B でもよいと評価

大野委員	している。努力していることは認めるということである。
議長	・私が B としたのは努力を評価したということである。
	・ここの項目は政策決定過程の男女共同参画であるから、男女数の均衡の問題ではないか。
大熊委員	・この「B でよいと思います。」では、少し主観的すぎると思う。もう少し客観的な表現の方が良いと思う。主観的なコメントとか感想であればそれで良いと思うが。
議長	・どこが良かったか、何が悪かったかと判断することが大事である。ここは皆さんのご意見を反映できるよう事務局と私の方で最終的に調整させていただきたい。
	・次に施策 3 の施策の市民との連携のところに移る。環境課のところは「A でいいと思います。」という評価なので、どこが良かったのかを具体的に表記してほしい。
梅田委員	・企画政策課のところの 2 番目の「未実施の欄の改善がなされていない。」の部分、もう少し何かコメントを入れた方が良く思う。
議長	・どなたの意見か。
山崎副会長	・プランの進捗状況を見ると「外国人の相談窓口の設置の必要性を検討する。」となっているが、実績は未実施である。
議長	・では、「外国人の相談窓口の設置が計画されているが、未実施となっていることを改善してください。」という表現にしたい。
山崎副会長	・地域づくり支援課も市民活動団体での事業実施の計画であったが未実施で E 評価になっている。具体的には日本語ボランティア団体への声かけである。
議長	・具体的に何が記入されていれば良いのか。
山崎副会長	・団体に声をかけたが、どの辺までそれをやったのかがわからない。
議長	・それなら先ほどと同様に「日本語ボランティアの養成講座について具体的に組み込んでいってください。」でよろしいか。
山崎副会長	・それをお願いしたい。

議長	・環境課についてはどなたか。
大野委員	・私だが、「努力していることがみられる。」という表現に変えたらどうかと思う。
議長	・何について努力しているのか。
大野委員	・女性の登用。
山崎副会長	・たぶん審議会委員10人のうち女性が4人登用されているということで「男女の比率を比べてAでよいと思います。」と評価したのではないか。
議長	・それなら「女性の登用に努力している点を評価します。」の方が良いと思う。
議長	・では次に施策4「ワーク・ライフ・バランス」について、保健センターの3番目。「月1回実施している。」これを評価するのか。
山崎副会長	・そのとおり。
議長	・では、語尾に「評価します。」を加える。次の人事課の水曜日のノー残業デーのところで「結果の報告」がなかった。4番目の「結果をお聞きしたい。」と最後の「実際の状況についての把握が必須。」が重複しているので、4番目は削除させていただきたい。上から3番目も同様だが、ここは、「評価できる。」という表現があるので残すこととする。 では、次に施策5「施策の経済社会における男女共同参画の推進」に移る。
櫻井委員	・商工観光課の2番目。
議長	・「行っていないので。」で終わっているので、語尾を「周知を行うようにしてください。」に修正する。
櫻井委員	・あと、保健センターの2番目。
議長	・ここは「男女とも参加があったことを評価します。」に修正する。 では、次、施策6の「子育てしやすい環境の整備・充実」に移る。
梅田委員	・子ども未来課の3番目に「地域子育て支援拠点が7ヶ所では不

	足だと思います。」という評価がある。これはデータでみると多くの利用者があり、有効に活用されているようだが、不足だとすると何ヶ所くらいあればいいのか挙げた方が良いのではないか。
議長	・イメージがわからなくて申し訳ないが、7ヶ所では不足であるというのはどれくらいあればいいと思われているのか。
山崎副会長	・できれば小学校単位で1ヶ所、小学校は16校あるが。
井上委員	・学区内に1ヶ所というところと児童数が少ない学校もあり難しいと思われる。
議長	・不足というのは例えば遠くて行けないとか、そういうことか。
山崎副会長	・そんなイメージ。行田市も広いので7ヶ所では少ないと思った。
議長	・例えば、「支援をより受けられるために増やすことを検討してください。」みたいな表現ではどうか。
山崎副会長	・了解した。
議長	・他にはいかがか。
大熊委員	・教育研修センターの3番目。「寄り添った」という文言の意味がよくわからない。「共感」とかの表現の方が良いのではないか。
議長	・「寄り添う」という表現はよく使うが、「共感」とも少し違うかもしれない。これはどなたの意見か。
山崎副会長	・私である。
議長	・どの部分を評価したのか。
山崎副会長	・「相談者の思いに寄り添った」というイメージが良いと思った。
議長	・例えば相談者の「思いを大切にした」ではどうか。
大熊委員	・その表現の方がいいかもしれない。
議長	・好みの問題もあるが「寄り添った」という表現でも良いのではないか。
大野委員	・民生委員の研修に参加しても「寄り添ってください」という言葉が何回も出てきた。
議長	・今の山崎委員の研修の話で「突っ込まないで寄り添う」という言葉が出たがすごくなるほどと思った。そうした表現もあると

	いうことでここはそのままいく。 ・次の施策 7 「男女共同参画の視点に立った防災・防犯体制の推進」に移る。防災安全課で女性が 7 人では不足という意見が多い。3 番目の意見と最後の意見をまとめてほしい。それから、「防災団体の男女比を調べておくべき。」と「女性を増やすための方策。」は関係しているのでここも一緒にした方が良いと思う。あと「防災会議を実施している。」だけで評価できるのか。これはどなたのご意見か。
山崎副会長	・確かに言われてみれば当たり前のことだ。
議長	・これだけ見るとそう思うってしまうが何を評価したいのか。
山崎副会長	・地域ごととかを入れた方がよかったのだが、修正するなら「地域ごとに防災会議を実施しているのを評価します。」ではどうか。
加藤委員	・報告書だと防災会議に新しく女性を加えていると書いてある。
議長	・それも付け加えていただいて評価するという形にしたい。「女性を積極的に加えた防災会議を各地域ごとに実施していることを評価します。」というような表記とする。
議長	・では、次、施策 8 の「生活上の困難に直面しやすい人々が暮らしやすい環境の整備」に移る。福祉課の 2 番目と 3 番目。「充実していることを評価します。」「D ではないと思います。」という表記、ここはまとめてもよろしいか。
茂木委員	・報告にはあまり進んでいないと書いてある。
議長	・それでは、「積極的に動いていることは評価しますが、設置の検討をさらに進めてください。」に改めたい。
	・他にはあるか。
山崎副会長	・地域づくり支援課の部分「実施していることを評価します。」にしていきたい。
茂木委員	・福祉課の「相談支援センターの設立に対し積極的に動いているなら D ではないと思います。」ここはどうか。
議長	・ここは設立に対し積極的に動いているかどうか分からないの

	で、先ほど出た「相談支援センターの設置を進めてください。」という表記にする。
櫻井委員	子ども未来課の２番目、「努めてほしい」の語尾を「努めてください。」にした方が良い。
議長	保険年金課の「実質的なものにしていってほしいです。」のところも「していってください。」に修正する。
山崎副会長	では、次の施策９「生涯を通じた健康づくりへの支援」に移る。
櫻井委員	保険年金課の「子どもに対する医療費が支援されている。」の語尾を「支援されていることを評価します。」に修正する。
議長	- スポーツ振興課の１番目の語尾「示していただきたいとします。」は「示してください。」で良いのではないかな。 - 語尾を統一したい。次に、施策１０「暴力のない社会づくりの推進」。学校教育課の３番目の語尾、「具体的数が分からない。」は「具体的数を示してください。」に、４番目も「示してほしい。」を「示してください。」に、２番目の「計画を実施しているのでＢでよいと思います。」は「計画的に実施していることは評価します。」に、男女共同参画推進センターは、「会議を開いている点の評価します。」にそれぞれ修正する。
議長	次、施策１１「DV被害者の安全確保と支援体制の充実」に移る。語尾の修正については事務局で直してほしい。 次、施策１２「セクシャル・ハラスメント防止対策」だが、男女共同参画推進センターの「評価を上げてよいのではないかな。」は、「講座の実施の達成について評価します。」でよろしいかな。
梅田委員	人事課のところの２つは同じ内容なので、２番目は削除で良いのではないかな。
議長	では、１番目だけにする。
加藤委員	報告書には「主査級以上の職員」と記載があるが、こちらは全職員対象となっている。
議長	報告書には、どのように書いてあるのか。

加藤委員	・ 人事課のところを見ると、ハラスメント防止研修の開催で主査級以上の職員を対象に研修会を行ったとある。
山崎副会長	・ 職員全員ではない。
議長	・ 管理職はきちんと研修を受けなければならないから、そこは主査級以上とか、管理職以上とか対象を明確にして表記を変える。
井上委員	・ 商工観光課は、「パンフレットの配布、ポスターの掲示だけでは不足だと思うので、具体的なプランを示してください。」にした方がよい。
議長	・ 学校教育課だが、「また」から以降は別の話なので2つにわけてほしい。
議長	・ 次、施策13「関連機関との連携の推進」にいく。男女共同参画推進センターの3番目は1番目と同じ内容なので1つにする。福祉課の1番目は「具体例を示してください。」に改める。
茂木委員	・ 次、施策14「性別による固定的な役割分担意識の解消」。
議長	・ 子ども未来課の1番目、語尾を「把握をしてください。」に直してほしい。
議長	・ 2番目も「増やしていただきたい。」を「増やしてください。」に改める。
梅田委員	・ ひとつづくり支援課の「あゆみの紙面の見直しを求めます。」について、何が問題でどう改善したらよいのかを記載した方がよいと思う。
大熊委員	・ 子ども未来課だが、1日保育士体験の対象は父親なのか母親なのか、両方なのかわからない。
山岸委員	・ 施策の取り組みだと「父親の1日保育士体験の実施」となっている」。
大熊委員	・ 「父親」と入れた方がよいのか。保育園で1日保育士体験というとお父さんのイベントみたいな雰囲気が主流である。
議長	・ 実質的には男女どちらでもよいと思われるが。
今村委員	・ これは男女である。それで男性が何人の参加と記載がある。男性にもできるだけ参加してほしいのと思うが。

山崎副会長	・ 先ほどのひとつくり支援課の広報誌の件だが、内容も難しいものが多いので、全戸配布しても興味を持って見てもらえてないところがある。そういう意味で意見として書いた。
議長	・ 評価としては興味を持ってもらえないという指摘か。
山崎副会長	・ そういうことである。
梅田委員	・ 報告書には、実績として「紙面の見直しを行った。」と書いてある。それでもまだ不足だということか。
議長	・ そうすると「興味を持ってもらえるような見直しをしてください」という表記にすれば良いか。見直しはしたけど興味をもってもらえなかったということ。
加藤委員	・ 見直しが不十分であったと指摘すればよいのではないか。
議長	・ では、施策１５「男女平等教育の推進」。学校教育課の２番目の語尾「行った点を評価します。」に。４番目の語尾を、「検討してください。」に修正する。
議長	・ 他にあるか。先ほどの子ども未来課の１日保育士体験だが、実施状況の把握という点ではどうか。
茂木委員	・ 公立は把握している。私立はどうなのか。
今村委員	・ これは私の意見だが、公立は把握しているが、私立保育園もある。その辺を把握しているかがわからない。
議長	・ 他にいかがか。では、もし何かあったら事務局に連絡すれば修正は可能なのでお願いします。これで議題１については、いったん区切りたいがよろしいか。では、次のその他について、事務局からお願いします。
事務局	・ 特に事務局からはない。
議長	・ 最初にフォーラムのことについて報告があったが、参加いただいた皆さんから、来年度に向けて何か意見などがあればここを出してもらった方が良くないか。
茂木委員	・ 参加人数が少なかった。会場のエアコンが壊れていたので大変だった。
事務局	・ 空調の改修工事期間と重なってしまった。フォーラムの日程を

加藤委員	決めたのは、４月当初で佐久間レイさんと日程調整して会場が空いている１２月１４日に設定した。そのあと６月に改修工事の予定があるのがわかったが、日程の変更ができなかった。 ・佐久間レイさんの講演、私も大変感動した。V I V Aが主催なのだから、ここでできたらもっといいのかなと感じた。みらいでは大きすぎるのか。
事務局	・みらいは、１２月は耐震工事があつて使えなかった。選択肢として商工センターしかなかった。
加藤委員	・あのくらいの参加人数だったら VIVA の学習室でもできたのでは。
事務局 茂木委員	・この部屋だと音響や照明など講師の要望に応えられず難しい。 ・人数が非常に少なく残念だった。アンケートはたくさんの方が出してくれたのでよかった。
事務局	・去年もそうだが集客が課題だと思っている。市報やホームページ、フェイスブック、ツイッターなどでPRしている。各種団体などへ動員の協力を呼びかければ、人数は集まるがいつも同じ顔ぶれになってしまう。本来の目的は多くの一般市民に参加してもらうことである。
山崎副会長	・整理券がネックだったのをいろんな方から聞いた。整理券がないと入れないというイメージがある。入場無料なので整理券は必要ないと思う。
事務局	・整理券は最初はなしでという話もあった。ただ、整理券を出せば、どのくらい集まりそうかある程度の反応がわかる。全く感触がわからないまま当日を迎えるのは不安である。
加藤委員 事務局	・自治会の回覧の活用などはどうなのか。 ・市報に載せると回覧では回せない。同じ情報をダブっては載せられない約束事がある。
議長	・よろしいか。いろいろ貴重な意見が出たので事務局としても今後検討いただければと思う。 では、以上ですべての議事を終了したので、これで議長の任を

事務局 山崎副会長	解かせていただく。長時間にわたるご協力に感謝申し上げます。 ・ 田代会長には議事進行感謝申し上げます。閉会の言葉を山崎副会長にお願いする。 ・ 閉会の言葉
-------------------------	---

--	--